

評価者	共創計画部長	比留間 彰
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	平和	施策の方針	平和推進事業の充実
目標とすべきまちの姿	若い世代も含め、市民一人ひとりの平和意識の醸成が図られることで、平和を基調にした世界に誇れるまちとなっています。 平和都市宣言及び鎌倉市民憲章について、さらに周知は図られています。			

1 市民意識調査結果

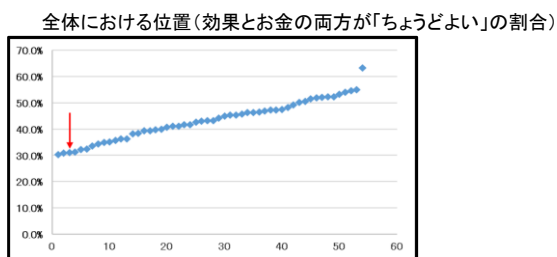
(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	45.8%	平成30年度(2018年度)	49.6%	平成29年度(2017年度)	48.7%
	平成28年度(2016年度)	48.7%	平成27年度(2015年度)	46.2%		

(2) 妥当性

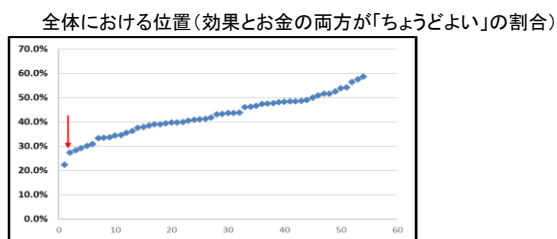
令和元年度(2019年度)

		お金の使い方		
仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	1.0%	0.3%	0.2%
	ちょうどよい	1.8%	31.0%	0.8%
	効果不十分	5.0%	3.4%	6.4%



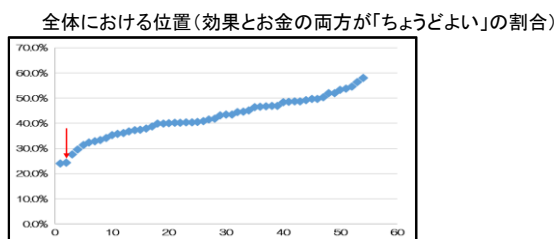
平成30年度(2018年度)

		お金の使い方		
仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	0.8%	0.2%	0.0%
	ちょうどよい	1.2%	27.4%	0.5%
	効果不十分	5.1%	4.6%	6.3%



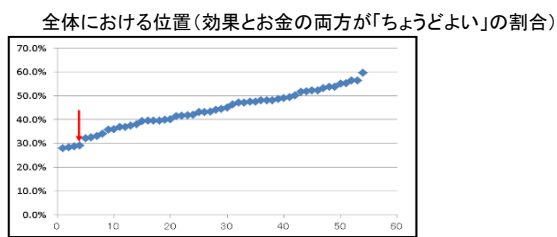
平成29年度(2017年度)

		お金の使い方		
仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	1.6%	0.2%	0.0%
	ちょうどよい	2.1%	24.4%	0.7%
	効果不十分	7.0%	3.5%	6.7%



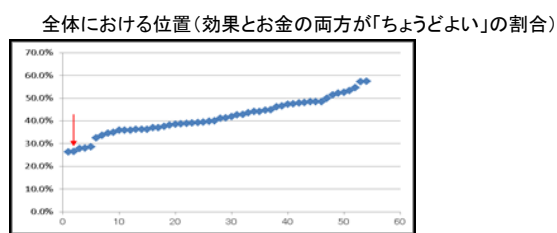
平成28年度(2016年度)

		お金の使い方		
仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	1.4%	0.4%	0.0%
	ちょうどよい	1.4%	29.1%	1.1%
	効果不十分	4.3%	3.9%	4.2%



平成27年度(2015年度)

		お金の使い方		
仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	1.4%	0.4%	0.0%
	ちょうどよい	1.4%	26.5%	0.4%
	効果不十分	7.3%	4.3%	5.4%



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	11.5%	31.8%	5.4%	51.2%
平成30年度(2018年度)	10.6%	27.4%	7.8%	54.2%
平成29年度(2017年度)	12.1%	24.3%	8.8%	54.8%
平成28年度(2016年度)	10.8%	28.4%	7.1%	53.6%
平成27年度(2015年度)	11.0%	26.8%	9.3%	52.9%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

①平和推進事業の枠組みは変えない中で、市民一人ひとりの平和意識の醸成を図るため、引き続き若い世代の参加を図りながら、鎌倉平和推進実行委員会との協働により多くの市民が参加できるイベントを行っていく。(共創-15)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

①より多くの市民が平和について考え、参加できるイベントを実施することにより、市民一人ひとりの平和意識の醸成が図られ、平和を基調にした世界に誇れるまちとなり、平和都市宣言及び鎌倉市民憲章について、さらに周知が図られる。(共創-15)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
共創-15	平和推進事業	832	758	0.9	0.9	無	b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】
 ①市民委員である鎌倉平和推進実行委員とともに、4月に「平和のつどい」(映画「コスタリカの奇跡」上映と講演会)、小・中学生向けの「出前講話“平和”」、平和意識の高揚を図る「平和を考えるパネル展」、戦争体験記録DVDの作成と市内小中学校、図書館への配布、2月に「平和のつどい」(ハンセン病患者について描かれた小説「あん」の作者の講演会)の実施などの平和推進事業を企画実施した。(共創-15)

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

- ・出前講話は、小中学生の平和意識の醸成に有効と考えるが、前年度参加者数を下回り改善の必要がある。(共創-15)
- ・予算を大きくかけることなく、継続した取組みを行い一定の成果を上げてきたと評価するものの、目標実現に向けてはさらなる充実が求められることから、効率性、妥当性、有効性ともに要改善とした。(共創-15)
- ・平和のつどいでは若い世代の参加が少なかったため、公平性を要改善とした。(共創-15)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	共創-15	事業名	平和推進事業						備考		
指標の内容	事業への市民参加						単位	人	指標の 傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
平和推進事業への参加者を増やすことで、市民の平和意識の醸成を促進するため。		目標値	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,500.0			
		実績値	2,749.0	3,309.0	3,303.0	2,841.0	3,515.0	2,101.0			
		達成率	91.6%	110.3%	110.1%	94.7%	117.2%	60.0%			